

週休2日工事に関するアンケート調査（受注者回答）【令和4年度集計表】

アンケート調査の概要

【対象】 令和4年度に週休2日対象工事で発注した工事を受注した業者を対象とする。

【回答】 75社（土木A19社，土木B44社，土木C2社，舗装14社）

※うち，土木Aと舗装の重複2社，土木Bと舗装の重複2社

【選択状況】 対象工事147件（発注者指定型17件，施工者希望型130件）

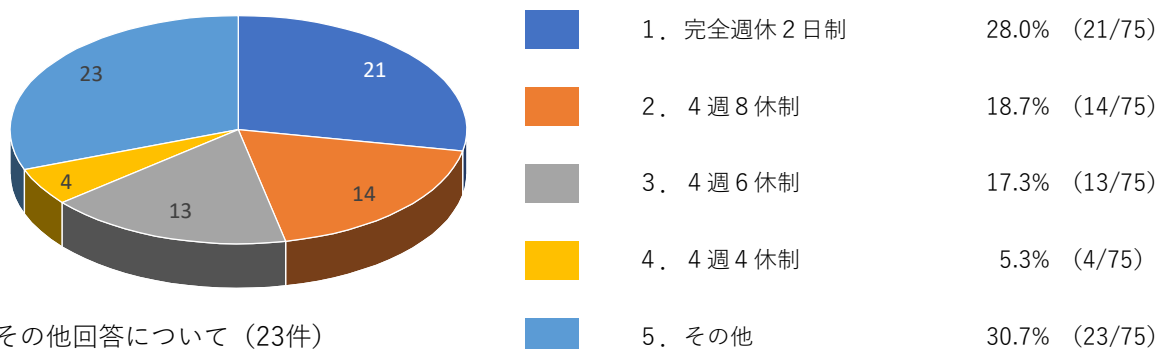
施工者希望型のうち選択119件（91.5%），達成119件（100%）

全対象工事のうち達成136件（92.5%）

Q1. 就労環境について

貴社の就業規則で定めている休日について，次の中から該当するものの番号をお答えください。

75件（回答総数）



○その他回答について（23件）

- ・ 1年単位の変形労働時間制（※）（19件）
- ・ 夏期は4週4休，冬期は4週8休（3件）
- ・ 4週6休と4週8休の間くらい（1件）

※1年単位の変形労働時間制：1箇月を超え1年以内の期間を平均して，1週間当たりの労働時間が40時間を超えないことを条件として，労働時間を配分することを認めている制度

Q2. 週休2日工事の選択状況について（施工者希望型のみ）

週休2日工事の選択状況について，次の中から該当するものの番号をお答えください。

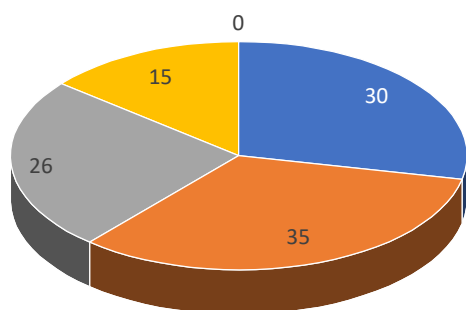
65件（回答総数） ※発注者指定型のみ受注：10社



Q 3. 週休2日工事を選択した理由について（施工者希望型のみ）

週休2日工事を選択した理由について、次の中から該当するものの番号をお答えください。（2つまで選択可能）

106 件（回答総数）

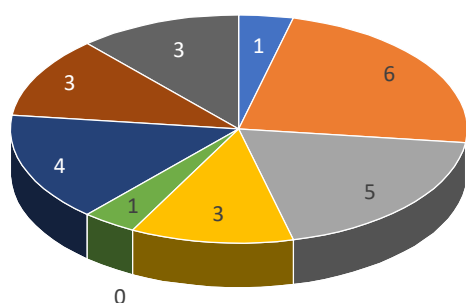


- 1. 自社の方針として週休2日に取組んでいるから
28.3% (30/106)
- 2. 労働環境の改善に向けて取組むことの重要性を意識しているから
33.0% (35/106)
- 3. 週休2日工事を選択すれば、達成したときに経費の割増補正などがあるから
24.5% (26/106)
- 4. 工種と実行予算から計画工程を作成した結果、週休2日の確保が可能と判断したから
14.1% (15/106)
- 5. その他
0.0% (0/106)

Q 4. 週休2日工事を選択しなかった理由について（施工者希望型のみ）

週休2日工事を選択しなかった主な理由について、次の中から該当するものの番号をお答えください。（3つまで選択可能）

26 件（回答総数）



- 1. 週休2日工事の工期設定が不足
3.9% (1/26)
- 2. 自社都合により工事期間を短縮する必要があった
23.1% (6/26)
- 3. 下請会社の休日調整が困難
19.2% (5/26)
- 4. 関係機関の調整に時間を要するため
11.5% (3/26)
- 5. 間接工事費の補正額が不足
0.0% (0/26)
- 6. 人力的に社内体制が整っていない
3.9% (1/26)
- 7. 技能労働者の給与水準を確保するため
15.4% (4/26)
- 8. 作業人員、工事機器、工事資材等の確保が困難なため
11.5% (3/26)
- 9. その他
11.5% (3/26)

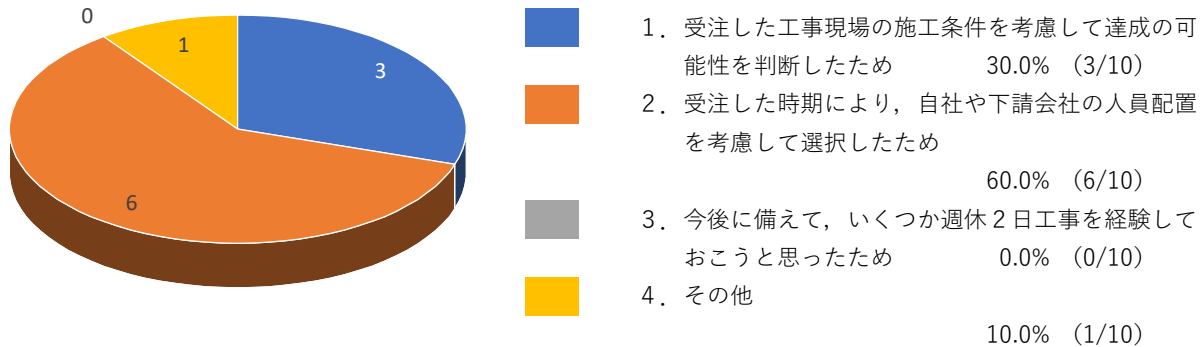
○その他回答について（3件）

- ・ 冬期間は除雪業務を行っており、雪が降れば土日でも稼働し施工する日が限られるので、工期内にしゅん功するために選択しなかった
- ・ 変形労働時間制を採用しているため
- ・ 日給や月給の季節雇用労働者が多いため

Q 5. 週休2日工事を選択した場合と選択しなかった場合がある理由について (施工者希望型のみ)

週休2日工事を選択した場合と選択しなかった場合がある理由について、次の中から該当するものの番号をお答えください。(2つまで選択可能)

10 件 (回答総数)



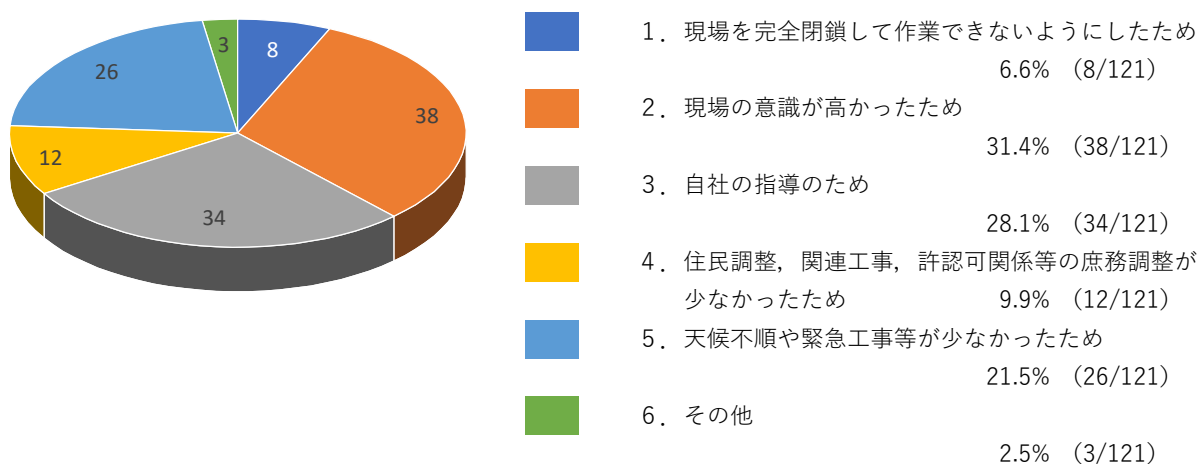
○その他回答について (1件)

- ・ 冬期間は除雪業務を行っており、雪が降れば土日でも稼働し施工する日が限られるので、工期内にしゅん功するために選択しなかった

Q 6. 週休2日で工事を履行できた理由について

週休2日で工事を履行できた主な理由について、次の中から該当するものの番号をお答えください。(2つまで選択可能)

121 件 (回答総数)

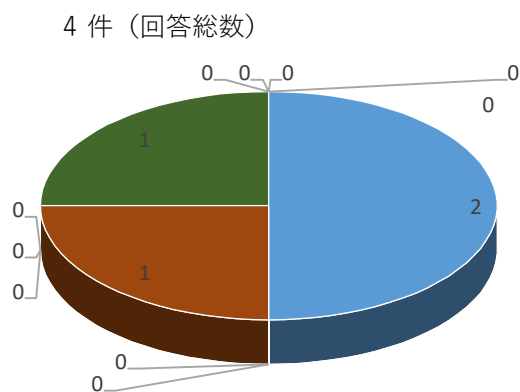


○その他回答について (3件)

- ・ 工程管理をしっかりおこなったため
- ・ 資材搬入及び外注先が4週8休を導入していたため

Q 7. 週休2日工事を実施したが、履行できなかった理由について（該当がある場合）

週休2日工事を実施したが、履行できなかった主な理由について、次の中から該当するものの番号をお答えください。（3つまで選択可能）

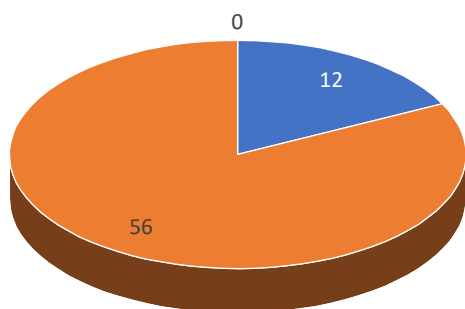


- 1. 自社都合により途中で辞退した 0.0% (0/4)
- 2. 工事内容に変更が生じたため 0.0% (0/4)
- 3. 地元調整に時間を要したため 0.0% (0/4)
- 4. 関係機関の調整に時間を要したため 0.0% (0/4)
- 5. 天候不順が続いたため 50.0% (2/4)
- 6. 関連工事との工程調整のため 0.0% (0/4)
- 7. 施工機械の待機日数増等による費用増のため 0.0% (0/4)
- 8. 技能労働者の給与水準を確保するため 25.0% (1/4)
- 9. 作業人員、工事機器、工事資材等の確保が困難になったため 0.0% (0/4)
- 10. 時間外労働が増加したため 0.0% (0/4)
- 11. 工期を短縮して現場経費を縮減し、早期に利益を確保したいため 0.0% (0/4)
- 12. 現地要望に対応する必要があったため 25.0% (1/4)
- 13. その他 0.0% (0/4)

Q 8. 週休2日工事の工期設定について

工事の工期設定について、次の中から該当するものの番号をお答えください。

68 件（回答総数）

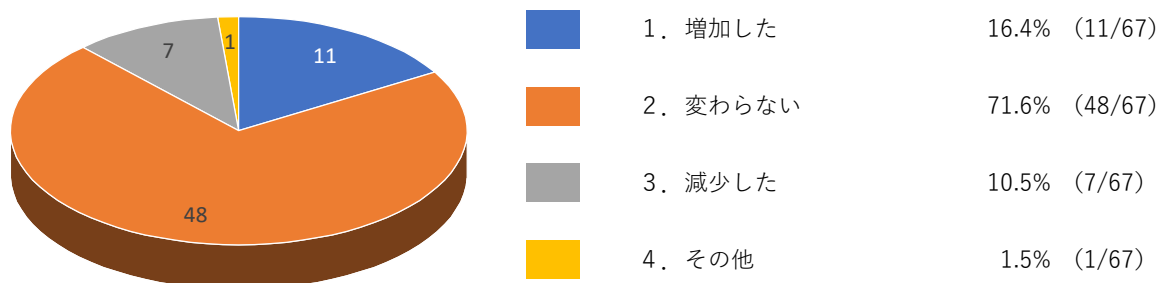


- 1. 余裕があった 17.7% (12/68)
- 2. 適切であった 82.3% (56/68)
- 3. 不足した 0.0% (0/68)

Q 9. 時間外労働について

週休2日工事の実施による時間外労働の状況について、次の中から該当するものの番号をお答えください。

67 件 (回答総数)



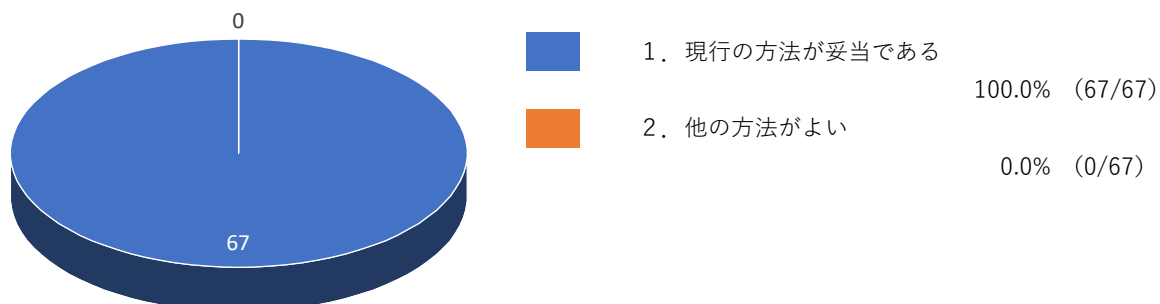
○その他回答について (1件)

- ・ 工程によってはその日に終わらなければならない工程もあるため、一時的に増加した時もあったが、工程通り作業できれば問題はなかった

Q10. 履行確認の手法について

週休2日工事の履行確認は、休日等取得実績調書等により施工協議簿により行っていますが、履行確認の手法について、次の中から該当するものの番号をお答えください。

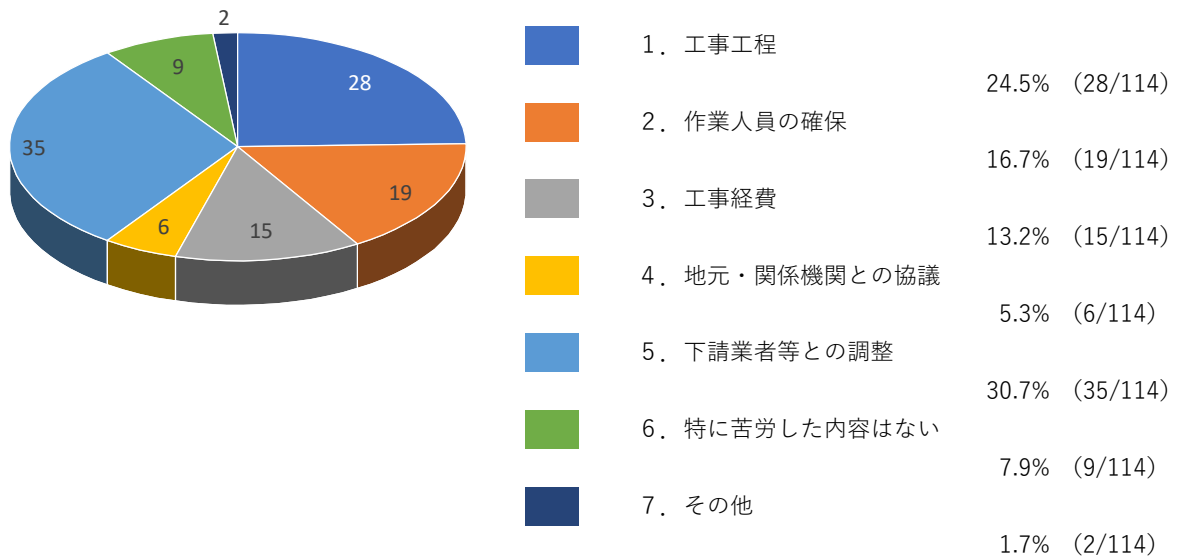
67 件 (回答総数)



Q11. 週休2日の確保について

週休2日を確保するうえで、特に調整に苦勞した内容について、次の中から該当するものの番号をお答えください。（2つまで選択可能）

114 件（回答総数）



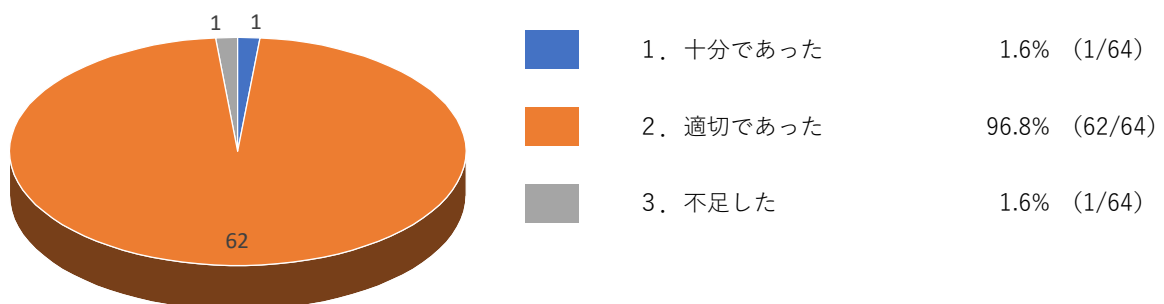
○その他回答について（2件）

- ・ 休日分の補填方法
- ・ 日給月給者の賃金を上げる必要があった

Q12. 週休2日の経費補正について

週休2日の実施に係る間接工事費の補正について、次の中から該当するものの番号をお答えください。

64 件（回答総数）



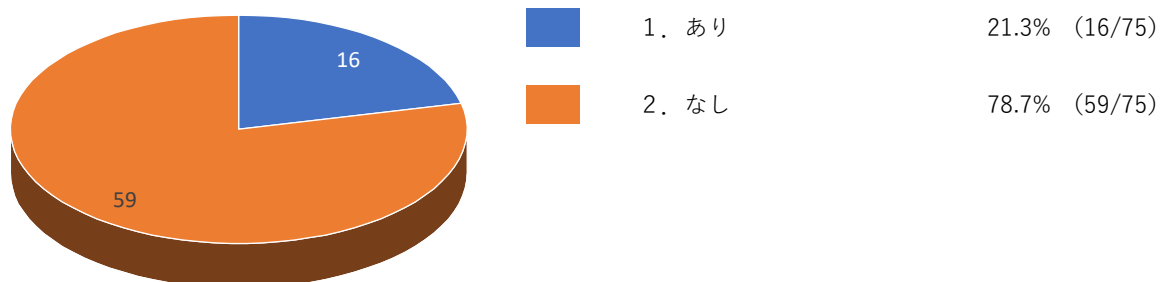
○不足した理由について（1件）

- ・ 休日が増えた土曜日分を作業員の保障（8 H）として支払ったため不足した

Q13. 週休2日工事に対する労働者の意見

週休2日工事の実施に当たり、技能労働者からの意見があれば記入してください。（自由回答）

75件（回答総数）

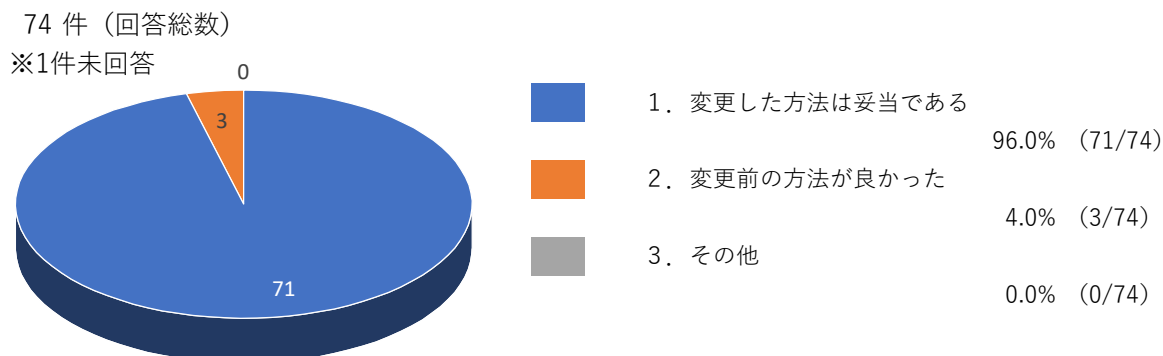


○自由回答について（複数回答あり）

- ・収入の減少について心配だ
- ・給料が下がった
- ・休日が多くなって支出が増えた
- ・作業人員が増えるので、人員の確保が難しい
- ・労務単価が値上がりすると、若年層の労働者確保が課題である
- ・給料が下がるとの意見があったので、日給を調整して対応した
- ・今後時間外労働が規制されるので、賃金をアップして年収確保させるべき
- ・もう少し工期の余裕が欲しい
- ・休日の予定が立てやすくなった
- ・ワークライフバランスが向上し、やりがいや充実感を感じながら働くことができた
- ・現場担当者の労働時間が短縮され労働環境の改善に繋がり、業界のイメージアップになる

Q14. 旭川市の週休2日工事の制度について

今年度、旭川市が発注する週休2日工事における4週8休の履行達成の確認方法を、1か月毎に確認する方法から国や道に合わせて全体実工期で確認する方法に変更しましたが、履行達成の確認方法について、次の中から該当するものの番号をお答えください。併せて選択した理由を記入してください。



○選択理由について（複数回答あり）

< 1 を選択した理由 >

- ・ 全体工期で把握できるため、双方が確認できる
- ・ 工事工程により繁忙期の休日確保が厳しい月があるため
- ・ 天候や、地先商店・アパートなど住民の出入りに作業日を指定されることがあるため
- ・ 終盤に雨などでどうしても休日稼働しなければならないときがあるため
- ・ 工程を組みやすいため
- ・ 全体工期での履行達成確認が適切だった
- ・ 天候不順、地下埋設物、NTT柱、北電柱の移設期間により現場が止まる事があるため
- ・ 完全週休2日を実施しているため、特に影響はない
- ・ 変更した方法が妥当と思われる
- ・ 達成がしやすいため
- ・ 天候や資材の納期などで計画どおりに行かない場面が多いため
- ・ この働き方改革は雪国北海道を軽視したものであり、本州の様に1年中雪も無く働ける環境であれば工期設定上可能である
- ・ 国及び道と同じ方法だったので、処理要領の確認作業等の手間が軽減されたため
- ・ 天候による作業の遅延が発生した場合、全体工期設定の方が工程に余裕を持たせることができるため
- ・ 天候により現場が遅れた場合、土曜に作業しなければならない月もあるため
- ・ 下請業者の都合上、短期間で施工しなければならない月があるため
- ・ 天候不順などで現場に遅れが発生した場合、1か月毎の実施確認では工程調整が困難になるため
- ・ 全体工程（予定工程）を通して把握し易い
- ・ 国道と合わせた履行確認だと現場担当も資料作成し易いため
- ・ 1か月毎の確認よりも工程の調整ができるため
- ・ 天候に左右される作業なので、天気予報等を確認しながら工事予定を立てやすいため
- ・ 1か月毎だと日数が限られるので、履行達成が不可能な場合もあるため

< 2 を選択した理由 >

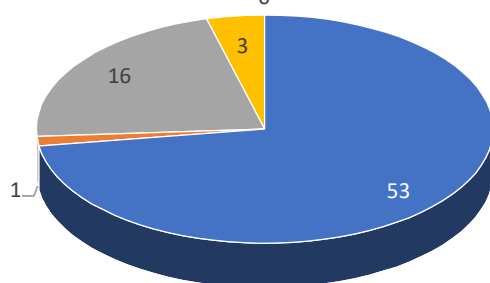
- ・ 1か月単位と週単位を組み合わせる

Q15. 今後、週休2日工事を受注した場合の選択の意向について

政府の働き方改革に基づき、令和6年度から週休2日工事を実施しなければなりません。今後、週休2日工事を受注した場合は、どのような選択をするのか、次の中から該当するものの番号をお答えください。

73件（回答総数）

※2件未回答

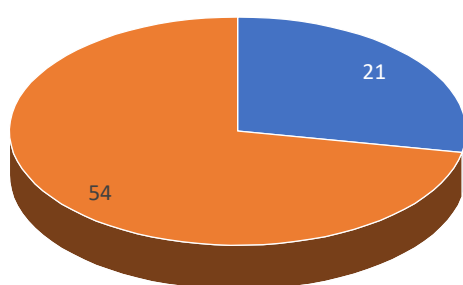


- | | | |
|--|--|---------------|
| | 1. 現在も週休2日を選択しており、今後も選択する予定である | 72.6% (53/73) |
| | 2. いままでは週休2日を選択していなかったが、今後はすべて選択する予定である | 1.4% (1/73) |
| | 3. 社内の体制を整理しているところであり、整い次第週休2日で選択する予定である | 21.9% (16/73) |
| | 4. 令和6年度までは現行のままで、令和6年度から週休2日で選択する予定である | 4.1% (3/73) |
| | 5. その他 | 0.0% (0/73) |

Q16. 週休2日工事全般について

政府の働き方改革に基づき、令和6年度から週休2日工事を実施しなければなりません。今後、週休2日工事を受注した場合は、どのような選択をするのか、次の中から該当するものの番号をお答えください。

75件（回答総数）



- | | | |
|--|-------|---------------|
| | 1. あり | 28.0% (21/75) |
| | 2. なし | 72.0% (54/75) |

○自由回答について（複数回答あり）

- ・ 評価期間が準備作業着手日から片付け完了までとなっているが、もう少し緩和して欲しい
- ・ 作業所の完全閉所ではなく、作業員のパーティー毎（会社毎）の週休2日制（4週8休）にして欲しい
- ・ 施工単価のアップ
- ・ 余裕ある工期の設定
- ・ 諸官庁によっては、休日日に工事を行わなければならない場所が多々あるため、職域によってはなかなか週休2日工事の改善策の取り組みが1年を通して容易ではないと思う
- ・ 住宅や店舗の近隣施工となる場所では、工事概要説明と合わせて週休2日の取組の主旨に関しても、発注者から近隣住民に理解を得られるようにして欲しい
- ・ 週休2日の取組を促進させるためには、生産性向上の取組の実施が必要不可欠だと思います
- ・ 作業員の給与が減少しないよう、経費率を上げて欲しい
- ・ 発注時期が早ければ発注者指定型で問題無く週休2日工事を達成することができます

- ・ 週休2日工事の推進
- ・ 経費割増補正の増加
- ・ 作業員（日雇）の賃金の問題，労務単価を上げて欲しい
- ・ ある現場で，休日の前日午後に電話で「月曜日の午前中までに書類を提出して欲しい」と言われ，土曜日に出て書類を作成していたケースがあった
 そういった内業に絡む残業や休日出勤等が発生することが考えられるため，より一層の両者間の協議，情報交換，コミュニケーション等に重点をおいて取り組んで行かなければならないと思う
- ・ 官庁工事のみではなく，民間も含めた全体で改善していかないと労働環境が良い方向になるとは考えにくい
- ・ 週休2日工事の定義が曖昧な認識があるので，対象期間と現場閉所の扱いを明確に発信して欲しい
- ・ 今後とも，適正な工期設定をして欲しい
- ・ 今後は更に労働者不足になってくる中で人員確保は厳しい状況となる
 他業種からの転職もあるが，若い世代を旭川で働いてもらう制度と教育をもっとしないと労働者，労働力はますます減少するので，旭川市でも検討して欲しい
- ・ 国の方針なので従うしかないが，北海道から沖縄まで全国一律なのが問題点だと思う
 工期を延ばせば良いということにはならず，冬期と雪の問題をなんとかして欲しい
- ・ 作業員の収入が減らないよう経費をもう少し上げて欲しい
- ・ 天候不良や作業員の確保などから，工期についても必要に応じて延長できるような柔軟な対応ができるような対策を取って欲しい
- ・ 除雪等は人材難で大変苦労しており，今後一層困難となることが予想されるため，市独自の考えで働き方改革に取り組んで欲しい
- ・ この取組には賛成だが，土木工事業は若者達にまるで人気が無い業種には変わらず，担い手不足に対していつも危惧している
 人材確保については今後も努力するが，会社の存続のために経費率のアップを要望する
- ・ 週休2日工事を実施することにより得られる効果，この効果に人手不足を解消する別の手法があれば盛り込んで欲しい
- ・ 年度始めの発注工事については人員確保を含め週休2日を実施し易いが，工事追込期となる秋期には週休2日確保は厳しくなるので，年度後半に発注するものは余裕のある工期設定を要望する
- ・ 働き方改革推進のためにもぜひ実施した方がいいと思う
- ・ 週休2日工事の実施により有休や代休の利用促進にもなっており，今後も国，道と歩調を揃えて取組を推進して欲しい